

科目名	法学入門
科目名(英訳)	Introduction to Law
科目ナンバー	BS136A01
担当者 (非)は非常勤講師	久米 一世
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 久米 一世: 火3-4
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	法学系科目を履修していく上で必要となる、基本的な日本法の体系と機能に関する知識を身につける科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:○
身につく基礎力／身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力／豊かな教養 専門的知識・技能 思考力

授業の主旨 (概要)	本講義では、現代社会における法の意義と役割を体系的に学ぶために、まず法の歴史的発展を踏まえた上で、個別法領域に関する基礎的な事項と理論を解説する。そして法という抽象的な概念を身近な事象として捉えるために事例を多く紹介し、現在生じている法的問題とその社会背景の関係性について検討する。具体的には、我々の生活に最も密着した法領域である私法分野に焦点を当て、経済環境の変化と法、売買契約と賃借契約、紛争の予防と解決、消費者保護等に重点を置くとともに、経済社会において重要なファクターのひとつである企業についても、株式会社の機関とその責任や法令遵守の在り様について言及する。																																																	
具体的 達成目標	現代社会における基本的な法の構造と機能に関する知識を習得し、社会人として不可欠のスキルである論理的思考力(リーガルマインド)を身に付けることができる。																																																	
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>【内容】</td> <td>第一回 講義のガイダンス:法の意義と役割、法の歴史・体系・基礎的事項の概説</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>レジュメをファイルにまとめ、復習に活用してください。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【内容】</td> <td>第二回 法とは何か</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>法とは何かのレジュメを再読しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【内容】</td> <td>第三回 日本法の体系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>日本法の体系のレジュメを再読しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【内容】</td> <td>第四回 人権の保障</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>人権の保障のレジュメを再読しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>【内容】</td> <td>第五回 権力分立</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>権力分立のレジュメを再読しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>【内容】</td> <td>第六回 日本の裁判制度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>日本の裁判制度のレジュメを再読しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>【内容】</td> <td>第七回 犯罪と法</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>犯罪と法のレジュメを再読しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>【内容】</td> <td>第八回 財産と法(1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>財産と法(1)のレジュメを再読しておくこと。</td> </tr> </table>		1	【内容】	第一回 講義のガイダンス:法の意義と役割、法の歴史・体系・基礎的事項の概説		【授業外学習】	レジュメをファイルにまとめ、復習に活用してください。	2	【内容】	第二回 法とは何か		【授業外学習】	法とは何かのレジュメを再読しておくこと。	3	【内容】	第三回 日本法の体系		【授業外学習】	日本法の体系のレジュメを再読しておくこと。	4	【内容】	第四回 人権の保障		【授業外学習】	人権の保障のレジュメを再読しておくこと。	5	【内容】	第五回 権力分立		【授業外学習】	権力分立のレジュメを再読しておくこと。	6	【内容】	第六回 日本の裁判制度		【授業外学習】	日本の裁判制度のレジュメを再読しておくこと。	7	【内容】	第七回 犯罪と法		【授業外学習】	犯罪と法のレジュメを再読しておくこと。	8	【内容】	第八回 財産と法(1)		【授業外学習】	財産と法(1)のレジュメを再読しておくこと。
1	【内容】	第一回 講義のガイダンス:法の意義と役割、法の歴史・体系・基礎的事項の概説																																																
	【授業外学習】	レジュメをファイルにまとめ、復習に活用してください。																																																
2	【内容】	第二回 法とは何か																																																
	【授業外学習】	法とは何かのレジュメを再読しておくこと。																																																
3	【内容】	第三回 日本法の体系																																																
	【授業外学習】	日本法の体系のレジュメを再読しておくこと。																																																
4	【内容】	第四回 人権の保障																																																
	【授業外学習】	人権の保障のレジュメを再読しておくこと。																																																
5	【内容】	第五回 権力分立																																																
	【授業外学習】	権力分立のレジュメを再読しておくこと。																																																
6	【内容】	第六回 日本の裁判制度																																																
	【授業外学習】	日本の裁判制度のレジュメを再読しておくこと。																																																
7	【内容】	第七回 犯罪と法																																																
	【授業外学習】	犯罪と法のレジュメを再読しておくこと。																																																
8	【内容】	第八回 財産と法(1)																																																
	【授業外学習】	財産と法(1)のレジュメを再読しておくこと。																																																

<p>9</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p>	<p>【内容】 第九回 財産と法(2)</p> <p>【授業外学習】 財産と法(2)のレジュメを再読しておくこと。</p>								
	<p>【内容】 第十回 安樂死と尊厳死</p>								
	<p>【授業外学習】 安樂死と尊厳死のレジュメを再読しておくこと。</p>								
	<p>【内容】 第十一回 家族と法</p>								
	<p>【授業外学習】 家族と法のレジュメを再読しておくこと。</p>								
	<p>【内容】 第十二回 労働と法</p>								
	<p>【授業外学習】 労働と法のレジュメを再読しておくこと。</p>								
	<p>【内容】 第十三回 環境と法</p>								
	<p>【授業外学習】 環境と法のレジュメを再読しておくこと。</p>								
	<p>【内容】 第十四回 國際社会と法</p>								
	<p>【授業外学習】 國際社会と法のレジュメを再読しておくこと。</p>								
	<p>【内容】 第十五回 全体のまとめ</p>								
	<p>【授業外学習】 これまでのレジュメを再読しておくこと。</p>								
授業方法	<p>講義形式で行います。講義の最初の15分で前回の内容の復習問題をやってもらいます。 翌週の講義で解説を行います。</p>								
成績の評価方法	<p>成績の評価方法として、期末試験では基本的な知識が定着しているかを問い合わせ(7割)、そこへ平常点を加えます(3割)。</p>								
成績の評価基準	<p>成績評価の割合は、期末試験が7割で平常点が3割です。 60点以上で合格とする。</p>								
教科書	<p>No</p> <p>1.</p>	<p>書籍名</p> <p>『ケースで学ぶ法学ナビ』</p>	<p>著者名</p> <p>大林啓吾=手塚崇聰 編集</p>	<p>出版社</p> <p>みらい</p>	<p>価格</p> <p>2160円</p>	<p>ISBN/ISSN</p> <p>4860154584</p>			
参考文献									